

2018年1月30日

クオドラントグループ、日本国内におけるライフサイエンス事業の本格展開を開始三菱ケミカル株式会社
クオドラントポリペンコジャパン株式会社

三菱ケミカル株式会社(本社:東京都千代田区、社長:越智仁)の子会社であるクオドラント AG(本社:スイス)は、このたび日本国内にて日本法人であるクオドラントポリペンコジャパン株式会社(本社:東京都中央区、社長:久原善夫、以下「QPJ」)を通じてライフサイエンス事業の本格展開を開始いたします。

人工関節用の緩衝剤として使用される超高分子量ポリエチレン「チルレン®」や、医療器具・手術器具に用いられる生体適合性エンジニアリングプラスチックなど、これまで欧州、米国を中心に展開してきたライフサイエンス分野向け高機能プラスチック素材について、QPJ が日本国内において販売を開始します。

クオドラントグループは、高機能プラスチック素材のグローバルリーダーとして世界 21 か国に拠点をもち、自動車や半導体・エレクトロニクスを含む様々な分野に加え、20 年にわたって欧州や米国でライフサイエンス事業を展開してきました。長年、世界中の人工関節メーカーに「チルレン®」が採用されているほか、生体適合性エンジニアリングプラスチックは、軽量であることや X 線透過性などの特徴を生かし、金属部品からの代替材として、医療器具・手術器具に広く用いられています。

クオドラントグループの生体適合性エンジニアリングプラスチックシリーズ『ライフサイエンスグレード』は、医療機器の生物学的安全性評価の国際規格である ISO10993 の認証を取得しています。こうした安全性に加え、樹脂の持つ軽量性、X 線透過性、さらには耐摩耗性、摺動性、耐薬品性などの特徴を有し、さまざまな医療機器部品への対応が可能です。

日本国内への展開にあたっては、三菱ケミカルの平塚事業所内に QPJ が有するテクニカルサポート部門を通じて、医療機器メーカーなどお客様の用途に合わせた最適な素材の提案等のサポートを提供します。

今後、QPJ は医療機器メーカーや部品メーカーの皆様と連携しながら、日本国内においても医療用プラスチック材料のリーダーとして安全かつ高機能な材料をお届けしてまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ先 株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室 電話:03-6748-7140
